



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日  
上場取引所 東

上場会社名 日本精機株式会社  
 コード番号 7287 URL <http://www.nippon-seiki.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 博俊  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部経理部 執行役員 (氏名) 渡辺 桂三 (TEL) 0258(24)3311  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 平成25年12月11日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	103,430	11.1	7,357	26.1	10,393	107.8	6,167	118.9
25年3月期第2四半期	93,082	14.6	5,836	△14.6	5,001	168.1	2,817	524.7

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 13,721百万円(—%) 25年3月期第2四半期 △1,871百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	107 65	107 57
25年3月期第2四半期	49 18	49 15

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	247,746	127,743	48.2
25年3月期	231,990	115,873	47.1

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 119,517百万円 25年3月期 109,155百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7 00	—	13 00	20 00
26年3月期	—	10 00			
26年3月期(予想)			—	12 00	22 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成25年11月6日)公表の「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	205,000	7.3	13,500	38.2	17,000	8.9	10,000	21.5	174 55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成25年11月6日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	60,907,599株	25年3月期	60,907,599株
26年3月期2Q	3,615,807株	25年3月期	3,625,390株
26年3月期2Q	57,287,025株	25年3月期2Q	57,285,181株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成25年11月21日に証券アナリスト及び機関投資家向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国の緩やかな景気回復基調に支えられたものの、中国および新興国経済の成長鈍化、長期化する欧州経済の低迷など、依然として不透明感の漂う状況が続きました。

一方、日本経済は、新政権の経済・財政政策により円相場・株価が安定的に推移し、企業業績や個人消費に改善が見られるなど、緩やかな景気回復の動きが見られました。

このような事業環境においても、当社グループでは、連結企業体としてグローバルでの競争に勝ち残り、継続的に成長できる収益体質を実現すべく、品質第一に徹し、競争に負けない「もの造り総合力」(コスト・技術・物流・サービス)の強化を推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、103,430百万円(前年同期比11.1%増)、営業利益は、7,357百万円(前年同期比26.1%増)、経常利益は、10,393百万円(前年同期比107.8%増)、四半期純利益は、6,167百万円(前年同期比118.9%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの変更を行っており、前年同期のセグメント情報を変更後の区分に基づき作成し、前年同期比を算出しております。

自動車及び汎用計器事業は、四輪車用計器、二輪車用計器が増加し、売上高79,062百万円(前年同期比17.6%増)、営業利益は、6,535百万円(前年同期比24.5%増)となりました。

民生機器事業は、アミューズメント等の減少により、売上高は、6,421百万円(前年同期比14.4%減)となり、営業損失802百万円(前年同期は208百万円の営業損失)となりました。

自動車販売事業は、新車販売等が減少し、売上高10,315百万円(前年同期比1.2%減)となりましたが、営業利益は、364百万円(前年同期比15.9%増)となりました。

その他は、ソフトウェア開発・販売等が減少し、売上高7,631百万円(前年同期比3.4%減)となりましたが、樹脂材料の加工・販売が堅調に推移したこと等により、営業利益は、1,099百万円(前年同期比21.6%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ15,756百万円増加し、247,746百万円となりました。これは流動資産で現金及び預金が8,107百万円増加、有形固定資産が6,967百万円増加したこと等によります。

負債は、前連結会計年度末に比べ3,886百万円増加し、120,002百万円となりました。これは流動負債で未払法人税等が1,595百万円、支払手形及び買掛金が1,526百万円減少しましたが、短期借入金7,502百万円増加したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ11,870百万円増加し、127,743百万円となりました。これは為替換算調整勘定が5,502百万円、利益剰余金が4,292百万円増加したこと等によります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末におけるキャッシュ・フローの状況は、現金及び現金同等物が前連結会計年度末に比べ3,826百万円増加し、33,505百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少等がありましたが、税金等調整前四半期純利益10,406百万円の計上等により、4,266百万円の収入超過（前年同期は2,114百万円の収入超過）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出3,892百万円、定期預金の純増減額が2,125百万円の減少となったこと等により、8,502百万円の支出超過（前年同期は43,767百万円の支出超過）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増減額が6,717百万円の増加となったこと等により、5,494百万円の収入超過（前年同期は87百万円の収入超過）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業況等を勘案し、平成25年5月14日発表の業績予想を修正しております。

詳しくは、本日（平成25年11月6日）発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測が含まれております。主要市場における需要動向、為替相場等に不透明な面があり、実際の業績が記載の見通しと異なる場合があります。ご承知おき下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	86,419	94,526
受取手形及び売掛金	36,986	36,830
商品及び製品	9,907	11,632
仕掛品	4,049	4,418
原材料及び貯蔵品	13,503	16,297
その他	12,909	9,787
貸倒引当金	△114	△149
流動資産合計	163,661	173,342
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,764	12,373
機械装置及び運搬具(純額)	9,256	13,034
工具、器具及び備品(純額)	3,004	3,685
土地	14,665	15,199
リース資産(純額)	563	542
建設仮勘定	2,633	3,020
有形固定資産合計	40,888	47,855
無形固定資産		
のれん	385	317
その他	2,616	3,159
無形固定資産合計	3,001	3,477
投資その他の資産		
投資有価証券	22,882	20,734
その他	1,566	2,346
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	24,438	23,070
固定資産合計	68,328	74,403
資産合計	231,990	247,746

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,970	29,444
短期借入金	50,882	58,384
未払法人税等	4,075	2,480
賞与引当金	1,947	2,506
役員賞与引当金	—	107
製品補償損失引当金	1,030	985
受注損失引当金	—	0
訴訟損失引当金	1,235	1,235
その他	11,760	10,961
流動負債合計	101,903	106,105
固定負債		
長期借入金	8,603	7,986
退職給付引当金	2,375	2,453
役員退職慰労引当金	183	166
資産除去債務	49	58
その他	3,001	3,231
固定負債合計	14,213	13,897
負債合計	116,116	120,002
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,494	14,494
資本剰余金	6,491	6,479
利益剰余金	89,058	93,351
自己株式	△6,275	△6,257
株主資本合計	103,769	108,067
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,396	4,957
為替換算調整勘定	989	6,492
その他の包括利益累計額合計	5,386	11,450
新株予約権	38	37
少数株主持分	6,679	8,188
純資産合計	115,873	127,743
負債純資産合計	231,990	247,746

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	93,082	103,430
売上原価	76,217	82,890
売上総利益	16,865	20,540
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	2,256	2,471
従業員給料	3,357	4,168
貸倒引当金繰入額	7	14
賞与引当金繰入額	605	607
役員賞与引当金繰入額	66	94
製品補償損失引当金繰入額	72	4
退職給付引当金繰入額	50	37
役員退職慰労引当金繰入額	18	19
その他	4,593	5,765
販売費及び一般管理費合計	11,028	13,183
営業利益	5,836	7,357
営業外収益		
受取利息	466	507
受取配当金	135	157
為替差益	—	2,260
その他	210	350
営業外収益合計	812	3,276
営業外費用		
支払利息	147	182
為替差損	1,476	—
その他	23	57
営業外費用合計	1,647	240
経常利益	5,001	10,393
特別利益		
固定資産売却益	18	31
特別利益合計	18	31
特別損失		
固定資産売却損	7	5
固定資産除却損	31	13
投資有価証券評価損	35	—
独禁法関連損失	78	—
特別損失合計	153	18
税金等調整前四半期純利益	4,866	10,406
法人税、住民税及び事業税	2,171	3,242
法人税等調整額	△468	336
法人税等合計	1,703	3,578
少数株主損益調整前四半期純利益	3,163	6,827
少数株主利益	345	660
四半期純利益	2,817	6,167

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,163	6,827
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,967	560
為替換算調整勘定	△3,067	6,333
その他の包括利益合計	△5,035	6,894
四半期包括利益	△1,871	13,721
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,239	12,230
少数株主に係る四半期包括利益	367	1,490

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,866	10,406
減価償却費	2,640	3,286
のれん償却額	63	89
株式報酬費用	11	10
賞与引当金の増減額(△は減少)	499	558
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	111	102
退職給付引当金の増減額(△は減少)	49	16
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△11	△16
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5	4
製品補償損失引当金の増減額(△は減少)	0	△52
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	0
受取利息及び受取配当金	△601	△664
支払利息	147	182
為替差損益(△は益)	356	172
有形固定資産売却益	△18	△31
有形固定資産処分損	28	18
無形固定資産除却損	10	—
投資有価証券評価損益(△は益)	35	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,950	5,433
たな卸資産の増減額(△は増加)	△79	△3
その他の資産の増減額(△は増加)	△1,375	△638
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,844	△9,245
その他の負債の増減額(△は減少)	△883	△923
その他	0	—
小計	4,962	8,706
利息及び配当金の受取額	603	663
利息の支払額	△148	△184
法人税等の支払額	△3,303	△4,919
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,114	4,266

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△39,895	△2,125
有価証券の売却による収入	300	—
有形固定資産の取得による支出	△2,502	△3,892
有形固定資産の売却による収入	185	181
有形固定資産の除却による支出	—	△0
無形固定資産、投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△797	△926
投資有価証券の取得による支出	△638	△1,104
貸付けによる支出	△2,279	△727
貸付金の回収による収入	1,860	90
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△43,767</b>	<b>△8,502</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,017	6,717
長期借入れによる収入	2	306
長期借入金の返済による支出	△55	△500
リース債務の返済による支出	△130	△117
少数株主からの払込みによる収入	70	—
自己株式の純増減額 (△は増加)	△4	△4
配当金の支払額	△631	△743
少数株主への配当金の支払額	△181	△163
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>87</b>	<b>5,494</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,137	1,641
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△43,702	2,899
現金及び現金同等物の期首残高	76,275	29,679
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,042	927
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,615	33,505

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車及 び汎用計 器事業	民生機器 事業	自動車販 売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	67,238	7,501	10,444	85,185	7,897	93,082	—	93,082
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	28	28	6,615	6,643	△6,643	—
計	67,238	7,501	10,473	85,213	14,512	99,726	△6,643	93,082
セグメント利益又は損失(△)	5,249	△208	314	5,355	903	6,259	△422	5,836

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、液晶表示素子・有機EL表示素子の製造販売、貨物運送、ソフトウェアの開発販売、受託計算、樹脂材料の加工・販売等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△422百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車及 び汎用計 器事業	民生機器 事業	自動車販 売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	79,062	6,421	10,315	95,799	7,631	103,430	—	103,430
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	19	19	6,844	6,863	△6,863	—
計	79,062	6,421	10,335	95,818	14,475	110,294	△6,863	103,430
セグメント利益又は損失(△)	6,535	△802	364	6,096	1,099	7,196	161	7,357

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、液晶表示素子・有機EL表示素子の製造販売、貨物運送、ソフトウェアの開発販売、受託計算、樹脂材料の加工・販売等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額161百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「ディスプレイ事業」として記載していた報告セグメントについては、量的な重要性が乏しくなったため「その他」の区分に含めております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。